東京都内で就業する准看護師の進学に関する現状調査

報告書

2025. 12.

公益社団法人東京都看護協会

看護制度委員会

ごあいさつ

公益社団法人東京都看護協会

会長　柳橋　礼子

日頃より東京都看護協会にご支援を賜りまことにありがとうございます。

東京都看護協会では、令和７年度看護制度委員会の事業として「東京都内で就業する准看護師の進学に関する現状調査」を実施いたしましたので、皆様にご報告をいたします。

これまで看護制度委員会では、准看護師の皆様方のキャリアアップ支援として、進学相談や研修など具体的な取り組みを行ってまいりました。本調査の結果は、今後の看護制度委員会主催の事業に活かしてまいりたいと存じます。

この調査にご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。

調査実施にあたって

准看護師制度は､約 70 年前に戦後急激な病院増設により看護職の需要が大きくなる中で、女子の高校進学率が低く、看護師を十分に増やすことが難しいことから、中学校卒業を要件に看護師を補助する資格取得制度として発足しました。

現代の看護職には、高齢化の進展による高齢患者の増加や、医療の高度化・複雑化、医療提供の場の多様化に対応し、自律的に判断し行動できる能力が一層求められています。

東京都看護協会看護制度委員会では,准看護師のキャリアアップ、スキルアップ支援を目的に、東京都看護協会会員の准看護師の方々を対象に、就業状況及び進学に関するアンケート調査を実施する事としました。

看護制度委員会では、今後も多くの准看護師の皆様に本会の取り組みを広く周知し、参加者の方々がどの成長段階にあっても生き生きと働き続けられる支援を行っていきたいと思います。

この調査結果が、准看護師の方々の働く意欲を高め、皆様の施設での進学支援の環境整備に役立てていただけることを願っております。

この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和 7 年 12 月

公益社団法人　東京都看護協会
看護制度委員会
委員長　　浅野久美子

目次

Ⅰ．調査概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ．調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1.　回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2.　今後の看護師資格の取得意向について・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　1)　看護師資格の取得を具体的に検討している・・・・・・・・・・・・ 9
　2)　看護師資格の取得は考えていない・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　3)　検討中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　4)　現在就学中である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
3.　看護制度委員会の取組みに関する認知度と期待すること・・・・・・・１４
4.　キャリアアップ、スキルアップするための支援について意見・要望・・１７
5.　考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
6.　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
7.　おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
8.　参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

Ⅲ．資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０

Ⅰ．調査概要

1.　調査の背景

東京都看護協会看護制度委員会（以下、当委員会）は、年 1～2 回、准看護師向けの研修会と進学支援として進学説明、体験談、相談会等を行っている。しかし、研修会や進学説明会への参加者は減少傾向にある。

2021 年度に日本看護協会は、全国の看護管理者を対象に「准看護師の業務に関する実態調査」を実施しているが、准看護師対象の進学及びスキルアップに関する調査は行われていない。そこで、当委員会は准看護師に対し、進学及びスキルアップ支援に役立てることを目的に、進学の意向や進学の支援に関する実態調査を行うこととした。

2.　目的

准看護師の就業状況、進学への意向や進学支援、要望を明らかにすることで、効果的な進学及びスキルアップ支援策等を検討するための一助とする。

3.　調査対象者

東京都看護協会会員データベースより、2025 年 6 月 2 日現在の准看護師会員を抽出し、全准看護師会員を対象とする。

4.　倫理的配慮

調査対象者には、本調査への協力は自由意思であり、協力の有無によって不利益は生じないこと、調査は無記名であり、個人が特定されないように配慮することを書面で説明し、調査票の回収をもって調査協力に同意を得たとみなした。また、東京都看護協会看護研究倫理委員会の承認を得て実施した。

5.　調査方法

調査依頼文書と説明書は対象者へ郵送し、 WEB を使用した自記式調査とする。

6.　調査期間

2025 年 8 月 1 日～2025 年 8 月 29 日

7.　回収状況

調査依頼文書と説明書は准看護師 284 名に配布し、27 名から回答を得た。（有効回収率 9.5%）

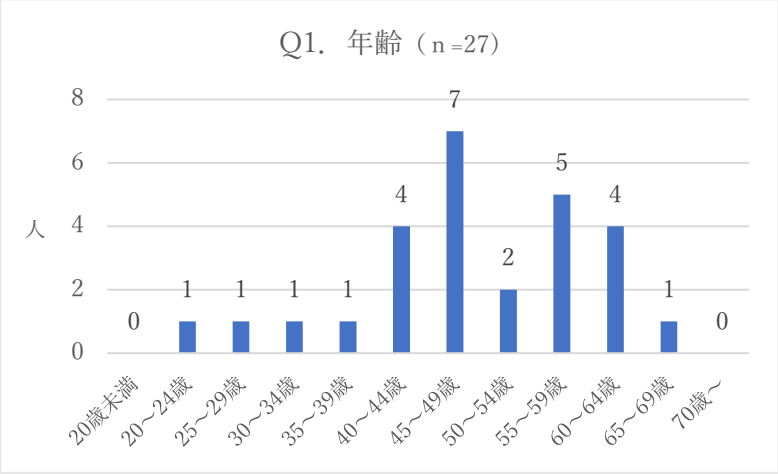
Ⅱ．調査結果

1.　　回答者の属性

1)　年齢

40 歳代が 11 名(40.7%)、次いで 50 歳代が 7 名(25.9%)であり、40 歳以上は 23 名(85.1%)であった。

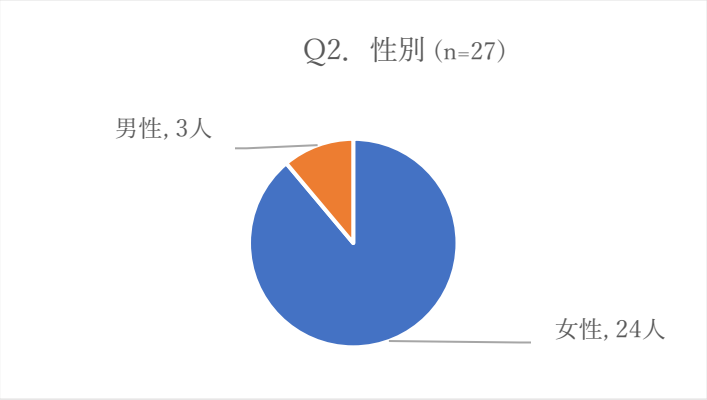
Q1. 現在の年齢		
	人数	%
20 歳未満	0	0
20～24 歳	1	3.7
25～29 歳	1	3.7
30～34 歳	1	3.7
35～39 歳	1	3.7
40～44 歳	4	14.8
45～49 歳	7	25.9
50～54 歳	2	7.4
55～59 歳	5	18.5
60～64 歳	4	14.8
65～69 歳	1	3.7
70 歳～	0	0
合計	27	100



2)　性別

女性が 24 名（88.9%）、男性は 3 名（11.1%）であった。

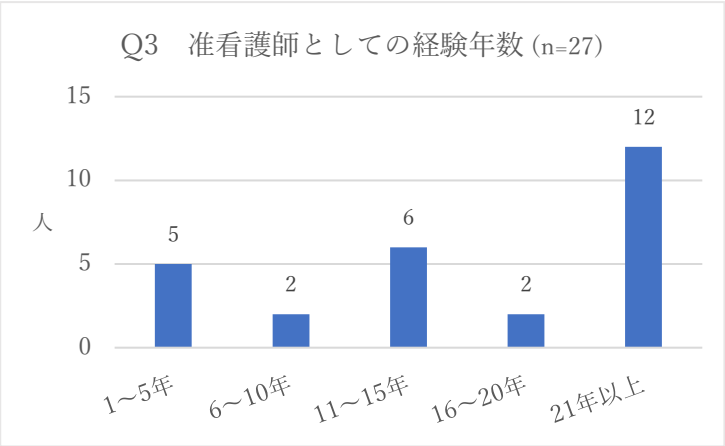
Q2. 性別		
	人数	%
女性	24	88.9
男性	3	11.1
合計	27	100



3)　准看護師としての経験年数

1～5 年が 5 名（18.5%）、11 年～15 年が 6 名（22.2%）、21 年以上が 12 名（44.4%）であり、21 年以上が最も多かった。

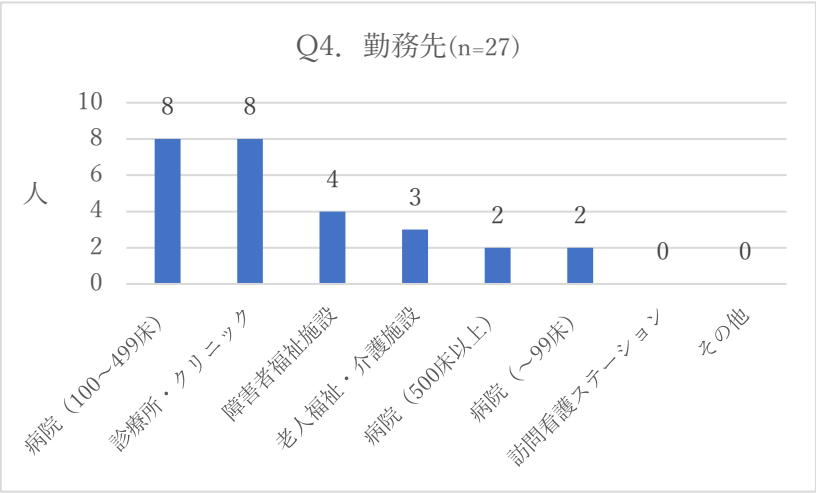
Q3. 准看護師としての経験年数		
	人数	%
1～5 年	5	18.5
6～10 年	2	7.4
11～15 年	6	22.2
16～20 年	2	7.4
21 年以上	12	44.4
合計	27	100



4)　勤務先の種類

病院（100～499 床）8 名（29.6%）と診療所・クリニック 8 名（29.6%）が合わせて約 60%を占めていた。

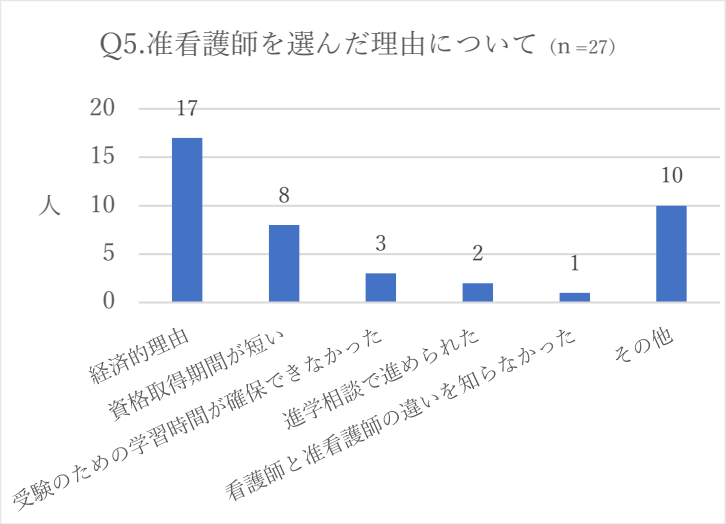
Q4. 勤務先の種類		
	人数	%
病院（～99 床）	2	7.4
病院（100～499 床）	8	29.6
病院（500 床以上）	2	7.4
診療所・クリニック	8	29.6
訪問看護ステーション	0	0
老人福祉・介護施設	3	11.1
障害者福祉施設	4	14.8
その他	0	0
合計	27	100



5）准看護師を選んだ理由

「経済的理由」が 17 名（41.5%）と最も多く、次いで「資格取得期間が短い」が理由に挙げられている。また、その他の自由記載では、看護学校を受験したが合格しなかったという回答は 10 名中 4 名であった。

Q5. 准看護師を選んだ理由について（複数回答）		
	人数	%
経済的理由	17	41.5
資格取得期間が短い	8	19.5
受験のための学習時間が確保できなかった	3	7.3
進学相談で進められた	2	4.9
看護師と准看護師の違いを知らなかった	1	2.4
その他	10	24.4
合計	41	100



＜その他＞

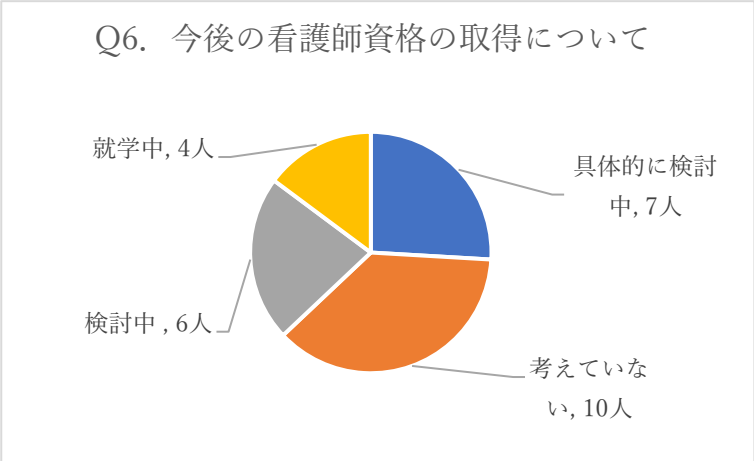
受かったのが准看護師の学校だけだったから
看護師の学校に受からなかった
子育て中だったから
中卒だから看護師の学校の受験ができなかった
看護師国家試験に落ちたから
最初の資格として
まだ小さな子供がいたから 2 年を選んだ
看護学校の受験に桜は咲かず遠回りをしても看護師になりたかったので開業医さんへ就職し、募集の間に合った准看護師学校に入学した。
商業高校でレギュラーコース受験したが受からなかった
高看進学中に大病をして

2.　今後の看護師資格の取得意向について

「具体的に検討中」が 7 名（25.9%）、「検討中」と合わせると 13 名（48.1%）が看護師資格の取得を考えている。「考えていない」は 10 名（37.0%）であった。

① 看護師資格取得の意向

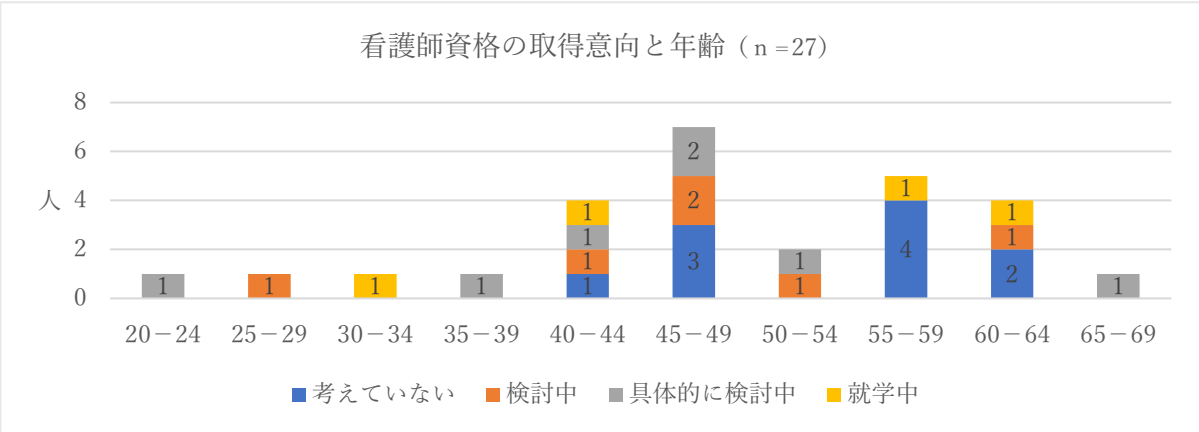
Q6. 今後の看護師資格の取得について		
	人数	%
具体的に検討中	7	25.9
考えていない	10	37.0
検討中	6	22.2
就学中である	4	14.8
合計	27	100



② 看護師資格取得意向と年齢

看護師資格取得の意向について、年齢別の回答では「考えていない」は 55 歳以上の人が 6 名（60.0%）であった。「具体的に検討中」及び「検討中」の人は 35 歳～54 歳が 9 名（69%）であった。「就学中」の 4 名のうち 2 名は 55 歳以上であった。

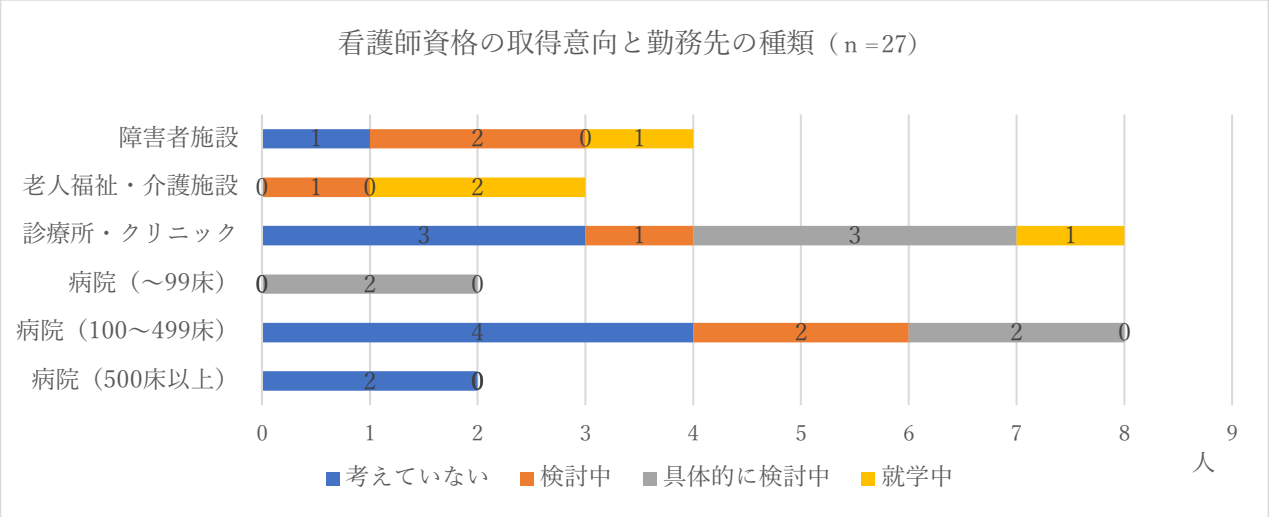
看護師資格の取得意向と年齢											
	20－24 歳	25－29 歳	30－34 歳	35－39 歳	40－44 歳	45－49 歳	50－54 歳	55－59 歳	60－64 歳	65－69 歳	合計
考えていない					1	3		4	2		10
検討中		1			1	2	1		1		6
具体的に検討中	1			1	1	2	1			1	7
就学中			1		1			1	1		4
合計	1	1	1	1	4	7	2	5	4	1	27



③　看護師資格取得意向と勤務先の種類

看護師資格の取得を「考えていない」10 名の内訳は、100 床以上の病院 6 名、診療所・クリニック 3 名、障害者施設 1 名であった。就業中の 4 名の勤務先は、病院以外であった。

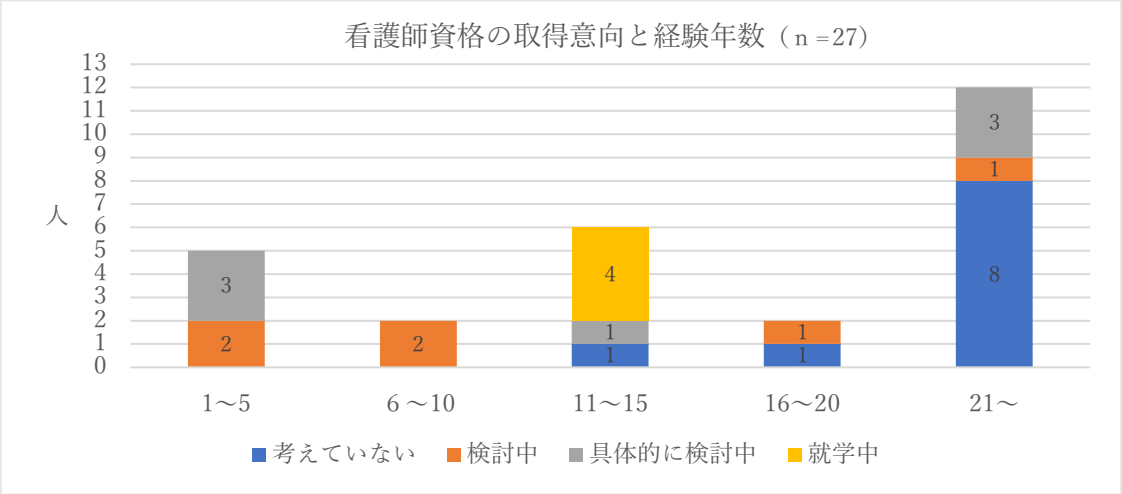
看護師資格の取得意向と勤務先の種類							
	病院（500床以上）	病院（100～499 床）	病院（～99床）	診療所・クリニック	老人福祉・介護施設	障害者施設	合計
考えていない	2	4	0	3	0	1	10
検討中	0	2	0	1	1	2	6
具体的に検討中	0	2	2	3	0	0	7
就学中	0	0	0	1	2	1	4
合計	2	8	2	8	3	4	27



④　看護師資格取得意向と経験年数

准看護師経験が 21 年以上の人は 8 名（80%）が看護師資格の取得を考えていない。「検討中」と「具体的に検討中」は、10 年未満の 7 名であった。

看護師資格の取得意向と経験年数						
	1～5 年	6 ～10 年	11～15 年	16～20 年	21 年以上	合計
考えていない	0	0	1	1	8	10
検討中	2	2	0	1	1	6
具体的に検討中	3	0	1	0	3	7
就学中	0	0	4	0	0	4
合計	5	2	6	2	12	27



1)　　看護師資格の取得を具体的に検討している（n＝7）

進学の時期は 1 年以内が 3 名（42.9%）、5 年以内が 3 名（42.9%）であった。また、進学課程は全日制が 2 名（28.6%）、通信制が 4 名（57.1%）であり、定時制昼・夜は 0 名であった。

①　進学の時期

Q7. 進学の時期		
	人数	%
1 年以内	3	42.9
5 年以内	3	42.9
10 年以内	1	14.3
合計	7	100

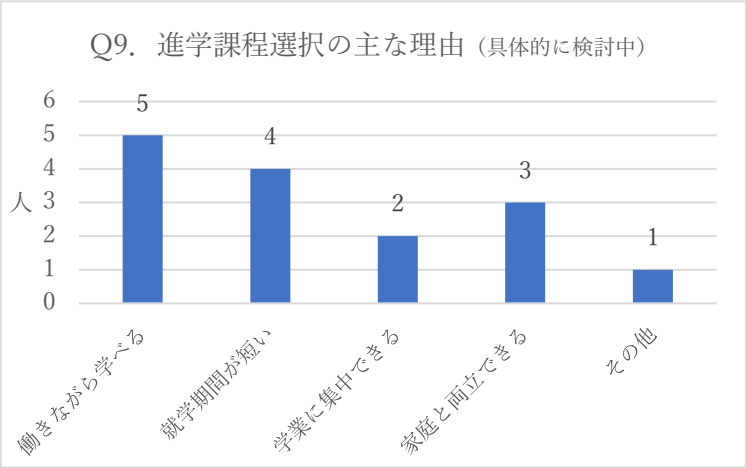
②どのような進学課程を考えているか。

Q8. どのような進学課程を考えているか		
	人数	%
全日制	2	28.6
定時制昼	0	0.0
定時制夜	0	0.0
通信制	4	57.1
具体的な進学課程は考えていない	1	14.3
合計	7	100

③　進学課程選択の主な理由

「働きながら学べる」「就学期間が短い」の回答が多く、仕事や家庭と学業の両立などから進学先を検討していた。

Q9. 進学課程選択の主な理由（複数回答）		
	人数	%
働きながら学べる	5	33.3
家庭と両立できる	3	20.0
就学期間が短い	4	26.7
学業に集中できる	2	13.3
その他	1	6.7
合計	15	100



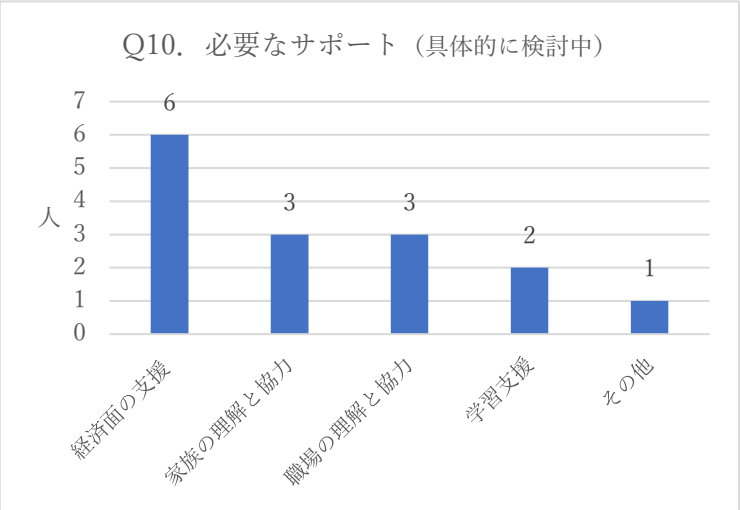
＜その他＞

学校は卒業。国家試験に不合格。国試不合格の准看護師へのサポートをお願いしたい

④　どのようなサポートがあれば助けになるか。

「経済的支援」が 6 名（40%）、「家族の理解と協力」と「職場の理解と協力」はあわせて 6 名（40.0%）であった。「学習支援」の回答は 2 名（13.3%）であった。

Q10. どのようなサポートがあれば助けになりますか（複数回答）		
	人数	%
経済面の支援	6	40.0
家族の理解と協力	3	20.0
職場の理解と協力	3	20.0
学習支援	2	13.3
その他	1	6.7
合計	15	100



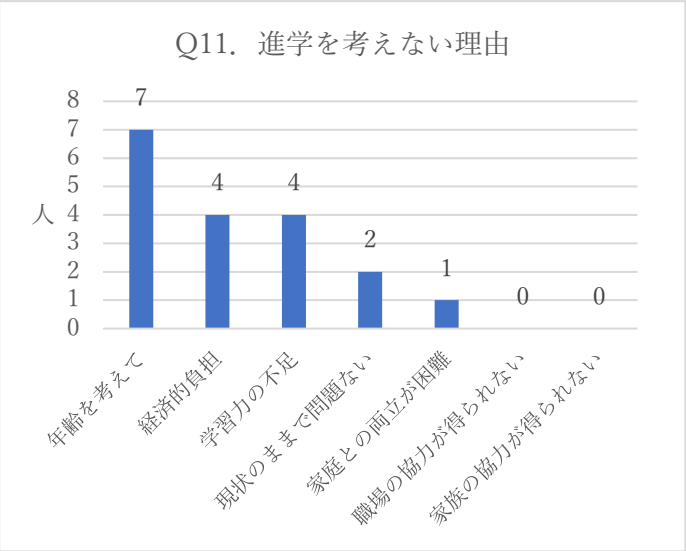
＜その他＞

既卒の国試リトライ者に対する支援がない。

2)　　看護師資格の取得は考えていない（n＝10）

看護師資格の取得を考えない理由は、「年齢を考えて」が 7 名（38.9%）、「経済的負担」が 4 名（22.2%）であった。また、「学習力の不足」4 名（22.2%）、「現状のままで問題ない」が 2 名（11.1%）であった。

Q11. 看護師資格取得を考えていない理由（複数回答）		
	人数	%
経済的負担	4	22.2
家庭との両立が困難	1	5.6
家族の協力が得られない	0	0.0
職場の協力が得られない	0	0.0
学習力の不足	4	22.2
現状のままで問題ない	2	11.1
年齢を考えて	7	38.9
合計	18	100



＜その他＞

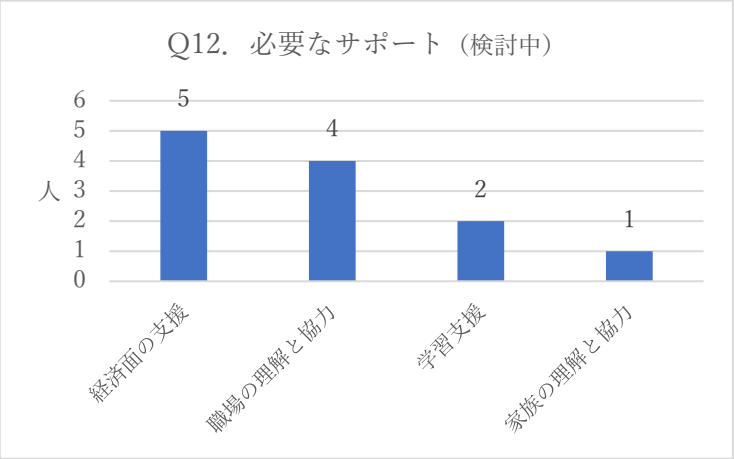
病気の治療後で体力的にも

3)　　検討中（n＝6）

「検討中」と回答した 6 名の望むサポートは、「経済面の支援」が 5 名（41.7%）と一番多く、次いで「職場の理解と協力」が 4 名（33.3%）、「学習支援」は 2 名であった。

①　どのようなサポートがあれば進学が可能か。

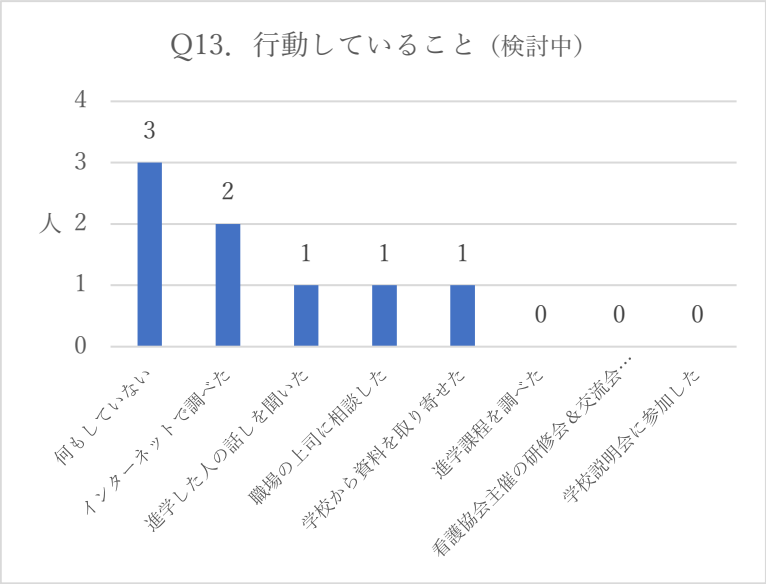
Q12. どのようなサポートがあれば進学が可能か（複数回答）		
	人数	%
経済面の支援	5	41.7
家族の理解と協力	1	8.3
職場の理解と協力	4	33.3
学習支援	2	16.7
合計	12	100



② 　現在何か行動していますか。

インターネットや進学経験者から情報を得ている人もいるが、「何もしていない」は 3 名であった。

Q13. 現在何か行動をしていますか（複数回答）		
	人数	%
職場の上司に相談した	1	12.5
進学した人の話しを聞いた	1	12.5
インターネットで調べた	2	25
学校から資料を取り寄せた	1	12.5
学校説明会に参加した	0	0
進学課程を調べた	0	0
看護協会主催の研修会＆交流会に参加	0	0
何もしていない	3	37.5
合計	8	100



＜その他＞

入学のために必要な資格試験の取得を目指している

4) 　現在就学中である（n＝4）

現在就学中の 4 名は全員が、通信課程であり、選択理由は「働きながら学べる」であった。進学の理由は「看護師として仕事をしたい」「将来、管理者を目指している」の回答であった。

進学までの期間は 2 か月から 38 年と幅広く、家庭の事情や経済的理由、職場の理解など理由は様々であった。就学している人の必要な支援は全員が「職場の理解と協力」と回答し、「家族の理解と協力」3 名、「経済面の支援」2 名であった。

① 　どの進学課程を選択しましたか。

Q14. どの進学課程を選択しましたか		
	人数	%
全日制	0	0.0
定時制（昼）	0	0.0
定時制（夜）	0	0.0
通信制	4	100.0
合計	4	100

② 　進学課程の選択理由

Q15. 進学課程の選択理由（複数回答）		
	人数	%
働きながら学べる	4	66.7
家庭と両立できる	1	16.7
就学期間が短い	0	0.0
学業に集中できる	0	0.0
通学の時間を短縮できる	1	16.7
合計	6	100

③　進学の主な理由

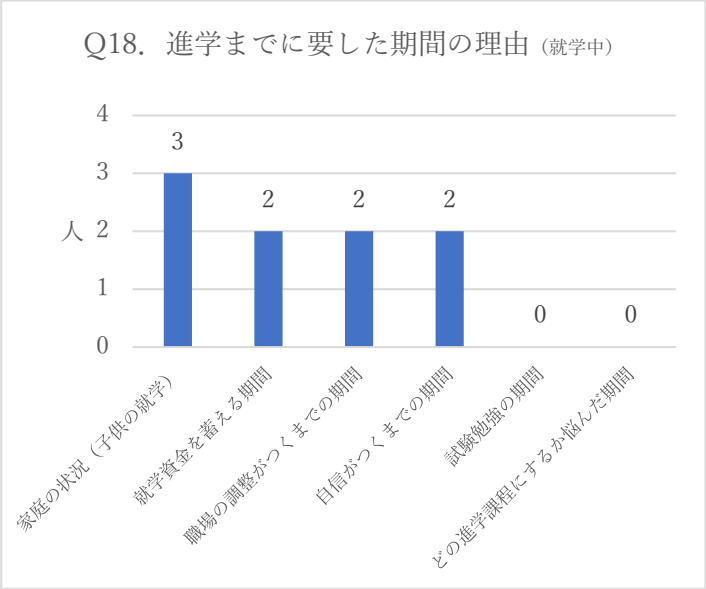
Q16．進学の主な理由は何ですか（複数回答）		
	人数	%
看護師として仕事をしたいため	3	75.0
将来、看護管理者を目指している	1	25.0
合計	4	100

④　実際に進学するまでにかかった期間

Q17．実際に進学するまでにかかった期間		
	人数	%
2 年	1	25.0
2 ヵ月	1	25.0
約 10 年	1	25.0
38 年	1	25.0
合計	4	100

⑤　進学までに要した期間の理由

Q18．進学するまでに要した期間の理由（複数回答）		
	人数	%
就学資金を蓄える期間	2	22.2
家庭の状況（子供の就学）	3	33.3
職場の調整がつくまでの期間	2	22.2
試験勉強の期間	0	0.0
自信がつくまでの期間	2	22.2
どの進学課程にするか悩んだ期間	0	0.0
合計	9	100

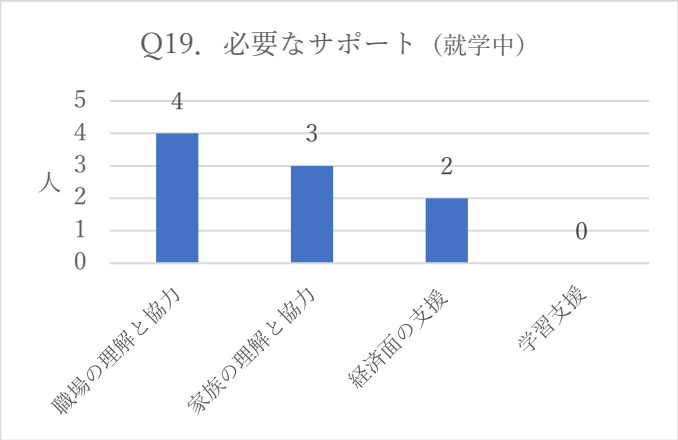


＜その他＞

家庭の状況（夫の転勤）

⑥　どのようなサポートが助けになりましたか

Q19．どのようなサポートが助けになりましたか（複数回答）		
	人数	%
経済面の支援	2	22.2
家族の理解と協力	3	33.3
職場の理解と協力	4	44.4
学習支援	0	0.0
合計	9	100

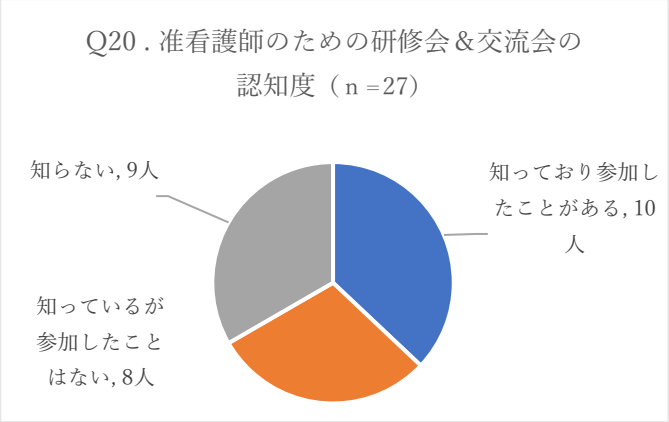


3.　　看護制度委員会の取組みに関する認知度と期待すること

看護制度委員会の研修会＆交流会を知っている人は 18 名（66.6%）、案内チラシで知ったと回答した人が 15 名（68.2%）で、職場の上司や学校の教員からの情報は 0 名であった。実際に参加したことのある人は 8 名（37.0%）であった。

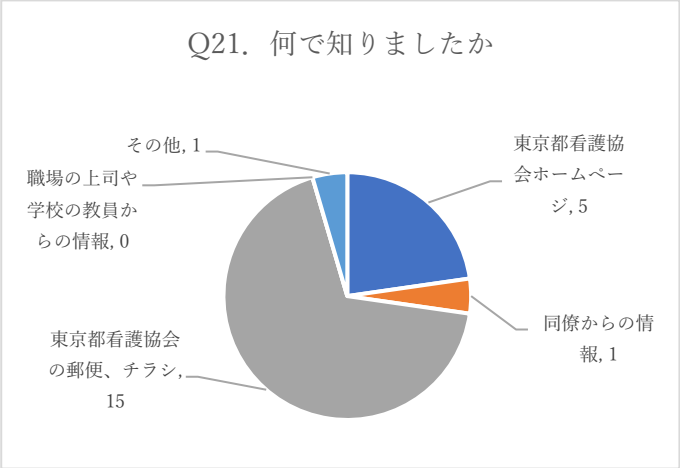
①　准看護師のための研修会＆交流会を知っているか

Q20．准看護師のための研修会＆交流会を知っていますか		
	人数	%
知っており参加したことがある	10	37.0
知っているが参加したことはない	8	29.6
知らない	9	33.3
合計	27	100



②　知ったきっかっけ（媒体等）

Q21．何で知りましたか		
	人数	%
東京都看護協会ホームページ	5	22.7
同僚からの情報	1	4.5
東京都看護協会の郵便、チラシ	15	68.2
職場の上司や学校の教員からの情報	0	0.0
その他	1	4.5
合計	22	100



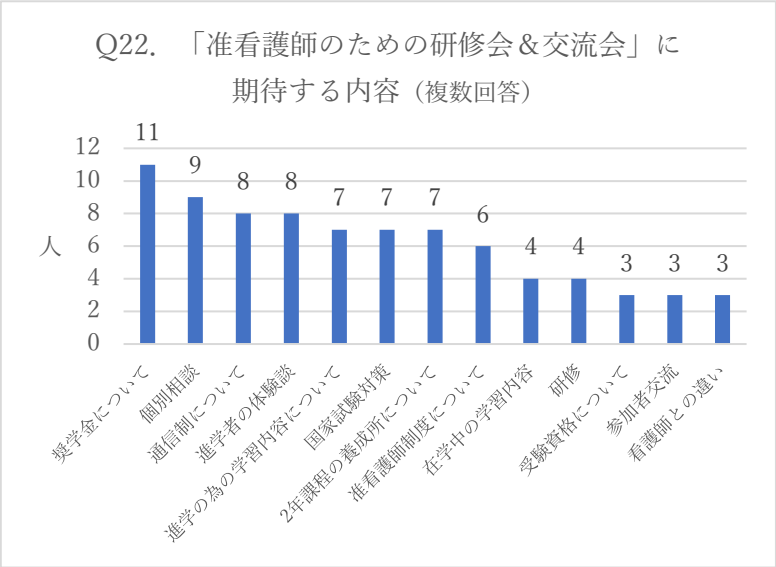
＜その他＞

会員なので知らせがくるから

③ 准看護師のための研修会＆交流会に期待すること

看護制度委員会に期待する内容は奨学金に関する説明などさまざまな回答であった。個別相談や国家試験対策を希望する回答もあった。

Q22. 「准看護師のための研修会＆交流会」に期待する内容（複数回答）		
	人数	%
准看護師制度について	6	7.5
看護師との違い	3	3.8
2 年課程の養成所について	7	8.8
受験資格について	3	3.8
通信制について	8	10.0
進学の為の学習内容について	7	8.8
在学中の学習内容	4	5.0
奨学金について	11	13.8
進学者の体験談	8	10.0
個別相談	9	11.3
参加者交流	3	3.8
国家試験対策	7	8.8
研修	4	5.0
合計	80	100



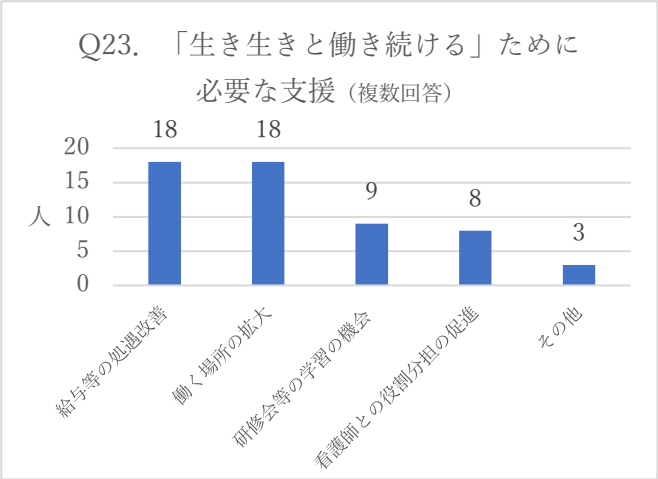
＜その他＞

看護師になる具体的なメリット(金銭面や仕事の違い)
国試リトライ者への支援を考えて欲しい。何度も言ってますが、既卒、リトライ者への国試試験対策の場を設けて欲しい。これから進学する人のサポートより簡単な気がします。
看護師の学校を途中で退学した場合の単位数は受験では有効でしょうか
准看護師について国はどのように考えているのか、また今後の方向性。

④　生き生きと働き続けるために必要な支援

支援として「給与等の処遇改善」と「働く場所の拡大」が各 18 名（32.1%）と最も多く、次いで「研修会等の学習の機会」9 名（16.1%）、「看護師との役割分担の促進」8 名（14.3%）であった。

Q23.　「生き生きと働き続ける」ために必要な支援（複数回答）		
	人数	%
研修会等の学習の機会	9	16.1
給与等の処遇改善	18	32.1
看護師との役割分担の促進	8	14.3
働く場所の拡大	18	32.1
その他	3	5.4
合計	56	100



＜その他＞

准看は廃止の方向では？進学制度の充実
既卒准看護師へのサポート
准看護師の現場での実態把握

4.　キャリアアップ、スキルアップするための支援について意見・要望

・キャリアアップはできなくても自己学習のためのWeb研修も多くあると受けやすい。
・実習中の生活費が確保できず、中途退学した。
・今年、看護師試験に合格した。
・国試にリトライできるよう、既卒、国試リトライへの手厚い支援をお願いしたい。
・准看護師でもスキルアップできる制度や、資格、認定等などほしい。
・最新の情報を含んだ多様な研修会。専門ナースにはなれない分、幅広い知識が必要と思う。
・通信5年になったがもう少し短縮できたらいいなと思う。
・専門職の職業訓練給付金を45歳以上も対象として欲しい。
・准看制度の廃止は取りやめてほしい。様々な事情があって准看を取得した人ばかり。准看取得者の多くが働かずに学校に行ける環境があれば准看護師の学校ではなく看護師の学校に進学していたと思う。よって色々なルートから看護師資格を取得できる道を残してほしい。 看護協会の配布物の言葉や表現の仕方は准看護師ではダメと言われているようで腹立たしく思う時がある。働きながら准看、高看と進めるシステム、学費支援を充実させてほしい。通信学科が減っていくのも何とかならないのか。
・准看護師として仕事をする中、進学しているが両立するのが難しい程の学習量で、現に仕事を辞めている人もいる。学校側は何かと学校に来いと言うが、行かれないから通信を選択したわけで、学習量が増えていくばかりで、きちんとその状況を把握されているのか、本当にこの学習量が必要なのか、また、有料のゼミや講習を学校側がかなり強力にすすめてくることも疑問である。時間がなくて大変な中、皆身体を壊しながら頑張っている現状を理解してほしい。苦しい中で頑張っている者の相談窓口等の設置を希望したい。
・准看護師がキャリアアップ、スキルアップする事に対応した研修会をもっとすすめて欲しい。進学の為の受験勉強についてやそれに対応する支援・研修などがあれば受けてみたいと思う。
・私が努力し頑張ってスキルアップしてもこのクリニックには必要がないと言われ辞めさせられた事があった。
・私が准看護師学校に行っている時から准看護師を廃止にすると言われていたが未だに実現していない。准看護師を廃止にするのが難しいなら准看護師の誰もが看護師になれるようにして欲しいと思う。
・研修と看護研究などしてみたい。また、認定看護師の資格が取れるものがあったら良いと感じた。

5.　考察

1）准看護師を選択した理由は経済的理由が一番多く、次いで「資格取得期間が短い」という結果から、働きながら短期間で資格が取れる准看護師を選択している。また看護師資格の取得を「具体的に検討中」「検討中」の方が望むサポートは、経済面の支援が第1位で、進学先の選択として働きながら学べ、就学期間が短い通信制を選択する傾向がある。看護師資格取得のためには経済的な基盤を整えることが重要であり、「准看護師のための研修会＆交流会」での奨学金の説明は継続していく必要がある。

2）今後の看護師資格の取得意向について、看護師資格の取得は「考えていない」10名のうち6名は55歳以上であり、経験年数21年以上8名であったことから、准看護師資格取得後なるべく早い時期に進学に関する情報提供を行うことは、進学率を高めると考える。そのため、准看護師養成所への働きかけや、准看護師養成所の生徒が参加しやすい「准看護師のための研修会＆交流会」の企画を考えることは、進学を進めるうえで有効と考える。

3）2021年度に公益社団法人日本看護協会が実施した「准看護師の業務に関する実態調査」では、58.9%の病院が「進学支援の取り組みがある」と回答している。「奨励している」の回答は病床規模別に比較すると、50床～300床未満の病院は「支援・奨励ともにある」が約60%であり、病床数が多くなるほど支援・奨励率が低下している結果であった。今回の調査は、看護師資格の取得は考えていない方の勤務先は100床以上の病院が60%を占めていること、現在「就学中」の方が助けとなった支援は全員が「職場の理解と協力」を挙げていることから、勤務先の支援は進学を考えるうえで大きな要因となる。また「准看護師のための研修会＆交流会」の認知について、「職場や学校からの情報」と答えた方はいなかったことからも、職場の理解が得られるようアプローチしていくことは重要である。

4）「具体的に検討中」「検討中」の方は学習支援を希望する意見があり、「就学中」の方からの希望はないが、進学するまでの期間を要した理由に「自信がつくまで」とあることから、進学に向けた学習支援、進学後の国家試験対策支援の需要があると考える。

5）「准看護師のための研修会＆交流会」に期待する内容は、「奨学金について」が一番多く、広く情報を得たいと考えており、現在のプログラムは期待する内容となっている。また「個別相談」が第2位となっていること、「進学者の体験談」も希望が高いことから、年齢や経験年数、勤務先や家庭の状況など、一人ひとりの背景が違うため、進学する際の具体的なイメージづくりや、実際に行動に移すための情報提供が助けになると考える。

6）生き生きと働き続けるために必要な支援としては、「給与等の処遇改善」「働く場所の拡大」が第1位となっている。日本看護協会の「准看護師の業務に関する実態調査」では准看護師の主な配置部門は外来が一番多く、次いで慢性期機能を担う病棟となっており、高度急性期・手術室・在宅部門が少ないという結果から、看護師と比較して働く

場所の制限があると感じているといえる。処遇については、看護師と業務分担を行っているが 50.7%で、明確な業務分担がされていない中で、給与~~で~~は新卒平均で 3 万円、勤続 10 年で 3.3 万円と差があることがモチベーションに影響を与えていると考える。今回の調査結果を看護管理者と共有するとともに、看護制度委員会としては処遇だけではなく、研修会等の学習や交流の機会を提供することで、支援していく必要がある。

6.　まとめ

1.「准看護師のための研修会＆交流会」では、経済的支援に関する情報含め、進学について具体的に考えられるよう情報提供や交流会を企画していく。
2.「准看護師のための研修会＆交流会」に看護管理者の参加を求めていくことは、職場の理解や協力などの進学への重要な支援となる。
3. 進学支援だけでなく、准看護師が生き生きと働けるための支援として、准看護師の学びや交流の機会を作っていく。

7.　おわりに

今回の調査の回答率は低かったが、自由記載に様々な意見を寄せていただいた。看護制度委員会は進学支援だけでなく、准看護師が生き生きと働くための支援も目的としているが、まだまだ認知されていないと思われる。活動内容を准看護師だけでなく看護管理者を含め理解を得て、准看護師への支援となるよう活動していく必要がある。

8. 参考文献

1）公益社団法人東京都看護協会：准看護師を対象とした 2 年過程進学説明会後の動向調査報告書　2020 年
2）公益社団法人日本看護協会：准看護師の業務に関する実態調査報告書　2022 年
3）木葉三奈：准看護師のニーズと今後の展望　日本精神病院協会雑誌　43（10）p47－53　2024 年
4）小島照正　岡松彦：看護職の現状と課題　日精協の立場から　日本精神病院協会雑誌　43（10）p 39－46　2024 年
5）乾弘美：看護の質向上を目指し　准看護師の挑戦を支援　看護　70（3）　p 46－47　2018 年
6）吉田香：看護師学校養成所 2 年過程通信制における学習継続に対する学生の思い　日本看護学教育学会誌　26（3）p 39－50　2017 年

Ⅲ．資料

資料１　「東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査協力のお願い」
資料２　「東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査」アンケート調査へご協力いただく方への説明書
資料３「東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査」

資料1

07東看協第443号
令和7年7月31日

東京都看護協会会員の准看護師　様

公益社団法人東京都看護協会
会長　柳橋礼子
（公　印　省　略）

東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より東京都看護協会事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
東京都看護協会看護制度委員会では、毎年准看護師の皆様を対象に「准看護師のための研修会＆交流会」を実施し、同日に進学に関する個別相談にも対応しております。
この度、当委員会では准看護師の皆様のキャリアアップ、スキルアップ支援を目的に、東京都内で就業する准看護師の方々を対象に就業状況及び進学に関する調査を実施することといたしました。
准看護師の方々におかれましては、調査にご協力を賜りますようお願いいたします。
結果の公表については、調査結果は組織や個人が特定されない形で集計・分析し、報告書として公表いたします。なおこの調査は、東京都看護協会の看護研究倫理審査の承認を受けております。

記

調査名　　：東京都内に就業する准看護師に関する進学等に関する現状調査
調査対象　　：東京都内で就業する看護協会会員の准看護師
調査実施主体：公益社団法人東京都看護協会　看護制度委員会
回答方法　　：調査説明書に記載したURLもしくはQRコードよりアクセスしていただき、WEB上でご回答ください。
所用時間　　：10分～15分程度
送付内容　　：送付状（本票）
調査説明書
（参考）調査票
回答期日　　：令和7年8月29日（金）

お問い合わせ先
公益社団法人東京都看護協会　事業部
住所　東京都新宿区西新宿4－2－19
電話　03－6300－5398　　E-mail　jigyo@tna.or.jp

資料 2

准看護師様

「東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査」

アンケート調査へご協力いただく方への説明書

【趣旨】

高齢化の進展による高齢患者の増加や、医療の高度化・社会の変化により、医療提供の場は多様化しています。このような中、患者や利用者のニーズに応えるために、東京都看護協会看護制度委員会では准看護師の研修や進学支援に取り組んでいるところです。

この度当委員会は、准看護師の進学やスキルアップ支援に貢献することを目的に、東京都内に就業中の准看護師の方を対象に、進学等に関する調査を実施することといたしました。

本調査は、効果的な准看護師の進学及びスキルアップ支援を行なう一助とすることを目的に実施いたします。

【方法】

1) 無記名のＷＥＢを使用した自記式のＷＥＢ調査です。
2) URL もしくは QR コードより Google フォームアンケートで回答をいただきますようお願いいたします。
   URL：https://forms.gle/WY37oFxr3MCn7NJT9
3) 回答には 10 分～15 分程度要します。
4) 令和 7 年 8 月 29 日までに回答いただきますよう、お願いいたします。

QR コード

【内容】

1) 年齢・性別・経験年数等
2) 進学について
3) 看護協会への期待等
4) 必要な支援・対策
5) その他

【個人情報保護について】

回答内容は、統計的に処理し個人・病院を特定できないようにコード化します。調査から得られたデータの集計や分析は集団として行い、個人や施設を特定することはできません。

データの取り扱いについては、データはパスワードをかけて厳重に管理し、終了後 5 年間保管後に破棄いたします。この調査から得られた情報は、他の研究へ利用することはありません。

【調査協力の任意性について】

調査への協力は自由意志によるものであり、強制ではありません。また、参加に同意しなかった場合であっても不利益を受けることはありません。調査票での同意をもって本調査への協力に同意を得られたものといたします。

また本調査は個人情報を収集しないため、送信いただいた調査表がどなたのものか特定できません。そのため、回答後に撤回することはできません。

【結果の公表について】

結果は、学会発表、学会誌への投稿、東京都看護協会のホームページなどを通じて公表する予定です。また、本調査から得られた結果を受け、東京都看護協会の研修企画の資料とさせていただきます。

【利益相反について】

なおこの調査は、東京都看護協会の看護研究倫理審査の承認を受けて実施するものです。
利益相反に関する事項はありません。

【連絡・問合せ先】

本調査に関してお聞きになりたいことがございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】　公益社団法人東京都看護協会　事業部
〒160-0023　東京都新宿区西新宿 4-2-19
TEL:　03-6300-5398　　Email：jigyo@tna.or.jp

資料3

調査説明書に記載したURLもしくはQRコードより
アクセスしていただき、WEB上でご回答ください。

【東京都内に就業されている准看護師の皆様へ】

アンケート調査についての説明書をお読みいただき、同意の可否について、□にチェックを入れた上で、調査票にご回答ください。

私は、「東京都内で就業する准看護師の進学等に関する現状調査」（東京都看護協会承認番号：2025002）について、説明文を読み、その方法、危険性、研究結果の取り扱いについて十分理解しましたので、自由意志で研究協力に同意します。

□同意する

「同意する」にチェックをしてくださった方のみ、次のページに進みます。同意されない方は、ここで終了となります。ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先
公益社団法人東京都看護協会　事業部
住所　東京都新宿区西新宿4－2－19
電話　03－6300－5398　　E-mail　jigyo@tna.or.jp

Q1. 現在の年齢
①20歳未満　②20～24歳　③25～29歳　④30～34歳　⑤35～39歳
⑥40～44歳　⑦45～49歳　⑧50～54歳　⑨55～59歳　⑩60～64歳
⑪65～69歳　⑫70歳～

Q2. 性別
①男性　②女性　③その他

Q3. 准看護師としての経験年数
①　1～5年　②6～10年　③11～15年　④16～20年　⑤21年以上

Q4. 勤務先の種類
①病院（～99 床）
②病院（100～499 床）
③病院（500 床以上）
④診療所・クリニック
⑤訪問看護ステーション
⑥老人福祉・介護施設
⑦障害者福祉施設
⑧その他（　　）

Q5. 准看護師を選んだ理由について（複数回答）
①経済的理由
②資格取得期間が短い
③受験のための学習時間が確保できなかった
④進学相談で進められた
⑤看護師と准看護師の違いを知らなかった
⑥その他（　　）

Q6. 今後、看護師資格の取得を検討していますか

①看護師資格の取得を具体的に検討している	➡	Q7. Q8. Q9. Q10 回答後 Q20 へ
②看護師資格の取得は考えていない	➡	Q11 回答後 Q20 へ
③検討中	➡	Q12. Q13 回答後 Q20 へ
④現在就学中である	➡	Q14～ Q19 回答後 Q20 へ

①～④の方それぞれご回答後、Q20 にお進みください。

Q7. Q6 で「①看護師資格の取得を具体的に検討している」を選択した方にうかがいます。
進学の時期はいつごろを予定していますか
①1 年以内　②5 年以内　③10 年以内

Q8. Q6 で「①看護師資格の取得を具体的に検討している」を選択した方にうかがいます。
どのような進学課程を考えていますか
①全日制
②定時制（昼）
③定時制（夜）
④通信制
⑤具体的な進学課程は考えていない

Q9. Q6 で「①看護師資格の取得を具体的に検討している」を選択した方にうかがいます。Q8 の選択について主な理由をお答えください（複数回答）

①働きながら学べる
②家庭と両立できる
③就学期間が短い
④学業に集中できる
⑤その他（　　）

Q10. Q6 で「①看護師資格の取得を具体的に検討している」を選択した方にうかがいます。進学にあたりどのようなサポートがあれば助けになりますか（複数回答）

①経済面の支援
②家族の理解と協力
③職場の理解と協力
④学習支援
⑤その他（　　）

Q11. Q6 で「②看護師資格の取得は考えていない」を選択した方に伺います。その理由をお答えください（複数回答）

①経済的負担
②家庭との両立が困難
③家族の協力が得られない
④職場の協力が得られない
⑤学習力の不足
⑥現状のままで問題ない
⑦年齢を考えて
⑧その他（　　）

Q12. Q6 で「③検討中」を選択した方に伺います。どのようなサポートがあれば進学が可能ですか（複数回答）

①経済面の支援
②家族の理解と協力
③職場の理解と協力
④学習支援
④その他（　　）

Q13. Q6 で「③検討中」を選択した方に伺います。検討するために現在何か行動をしていますか（複数回答）

①職場の上司に相談した
②進学した人の話を聞いた
③学校についてインターネットで調べた
④学校から資料を取り寄せた
⑤学校説明会に参加した
⑥進学課程を調べた
⑦看護協会主催の「准看護師のための研修会＆交流会」に参加した
⑧何もしていない
⑨その他（　　）

Q14. Q6 で「④現在就学中」を選択した方に伺います。どの進学課程を選択しましたか

①全日制
②定時制（昼）
③定時制（夜）
④通信制

Q15. Q6 で「④現在就学中」を選択した方に伺います。Q14 の主な選択理由をお答えください（複数回答）

①働きながら学べる
②家庭と両立できる
③就学期間が短い
④学業に集中できる
⑤通学の時間を短縮することができる
⑥その他（　　）

Q16. Q6 で「④現在就学中」を選択した方に伺います。進学の主な理由は何ですか

①看護師として仕事をしたいため
②将来、看護管理者を目指している
③将来、専門看護師、特定行為看護師を目指している
④希望する職場、分野に進むため
⑤知識・技術向上のため
⑥経済的理由
⑦その他（　　）

Q17. Q6で「④現在就学中」を選択した方に伺います。進学を決めてから実際に進学するまでにかかった期間をお答えください
期間：　　年

Q18. Q6で「④現在就学中」を選択した方に伺います。進学を決めてから実際に進学するまでに要した期間の理由についてお伺いします。(複数回答)
①就学資金を蓄える期間
②家庭の状況（子供が就学するまでの期間）
③職場の調整がつくまでの期間
④試験勉強の期間
⑤自信がつくまでの期間
⑥どの進学過程にするか悩んだ期間
⑦その他（　　）

Q19. Q6で「④現在就学中」を選択した方に伺います。進学を決めてから現在までに、どのようなサポートが助けになりましたか（複数回答）
①経済面の支援
②家族の理解と協力
③職場の理解と協力
④学習支援
⑤その他（　　）

【この設問は全員が対象です】
Q20. 東京都看護協会看護制度委員会は、准看護師の研修や進学を支援するために、「准看護師のための研修会＆交流会」を開催しています。「准看護師のための研修会＆交流会」を知っていますか
①知っており参加したことがある
②知っているが参加したことはない
③知らない

Q21. Q20で「①知っており参加したことがある」「②知っているが参加したことはない」を選択した方に伺います。何で知りましたか
①東京都看護協会ホームページ
②同僚からの情報
③東京都看護協会の郵便、チラシ
④職場の上司や学校の教員からの情報
⑤その他（　　）

資料 3

【Q22 以降の設問は全員が対象です】

Q22. 東京都看護協会が主催する「准看護師のための研修会＆交流会」に期待する内容についてお伺いします。(複数回答)

①准看護師制度について
②看護師との違い
③2 年課程の養成所について
④受験資格について
⑤通信制について
⑥進学の為の学習内容について
⑦在学中の学習内容
⑧奨学金について
⑨進学者の体験談
⑩個別相談
⑪参加者交流
⑫国家試験対策
⑬研修
⑭その他（　　）

Q23. 准看護師として「生き生きと働き続ける」ために必要な支援についてお答えください(複数回答)

①研修会等の学習の機会
②給与等の処遇改善
③看護師との役割分担の促進
④働く場所の拡大
⑤その他（　　）

Q24. あなたがキャリアアップ、スキルアップするための支援について、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

公益社団法人東京都看護協会
看護制度委員会